

刈羽村長

品田 宏夫 様

## 原子力総合防災訓練を視察して

日ごろ原子力発電所の安全対策に尽力いただいていることに敬意を表します。

ここ数年来、地震・水害・雪害・停電と、大規模かつ深刻な災害や事象が頻発しております。

‘05年11月に実施された原子力総合防災訓練は、新潟県では初めての国レベルの訓練であり、今までにも増して住民にとっては、現実味を帯びた注目度の高い訓練であったと思います。

地域の会では、各訓練会場に分かれ委員が視察した後、数回の意見交換を重ねました。

その結果、原子力発電所のある地域住民として、防災は、それぞれが自分の事として捉える必要性を再確認いたしました。

国・地方自治体に対して、今後は複合災害も想定されるべきこと、オフサイトセンターの更なる充実（ヘリポート・報道スペースの確保）、現地本部の権限の見直し（迅速な対応）など、訓練結果を踏まえて、立地住民の理解と納得が得られる改善をされるよう望みます。

東京電力株式会社に対しては、関連企業を含めた教育や訓練、情報の共有等をさらに拡大し、事故を起こさないこと、更には、あらゆる想定のもと訓練を重ね、万が一に備えられますよう望みます。

なお、原子力総合防災訓練に関する、地域の会委員の意見・感想及び質疑応答の詳細は、別紙添付いたしましたので、併せて検討くださるよう要請します。

平成18年2月1日

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を  
確保する地域の会